

大会プログラム

公益社団法人 日本オリエンテーリング協会公認

第26回 札幌オリエンテーリング クラブ大会

令和3年7月10日(土)ミドルディスタンス
11日(日)ロングディスタンス
雨天決行・荒天中止



Sapporo Orienteering club
札幌オリエンテーリングクラブ

主催：札幌オリエンテーリングクラブ

協力：

北海道森林管理局石狩森林管理署
北海道オリエンテーリング協会
北海道大学オリエンテーリング部

後援：

北海道森林管理局石狩森林管理署
千歳市
公益財団法人北海道スポーツ協会

名誉大会長： 堀井 学

(北海道オリエンテーリング協会会長)

大会実行委員長： 原田 憲夫

(札幌オリエンテーリングクラブ会長)

運営責任者： 山田 健一 (コースプラン兼任)

競技責任者： 櫻本 信一郎 (コースプラン兼任)

イベントアドバイザー： 田中 徹

(千葉県オリエンテーリング協会)

【1】ごあいさつ

札幌オリエンテーリングクラブ会長 原田 憲夫

新型コロナウイルス感染症拡大防止という社会活動の制限は北海道の小さなクラブにも大きな影響を及ぼすこととなりました。大会開催が1年延期となるだけでなく準備作業にもクラブ員が集えない、揺れ動く社会情勢にともない交渉もなかなか進まず、常にご破算のリスクと隣り合わせで準備を進めてきました。

支笏カルデラの東端をトレインとして行われるオリエンテーリング大会は39年前の昭和57年に札幌OLCが当時のJOLC公認大会として北海道大学OLCと合同2日間大会を開催したことに基を發します。昭和、平成、令和と時代は移り変わり好評裏に終えた平成最後の前回大会とは雰囲気が一変し不安いっばいの新時代幕開けの大会となりますが、この大会が参加される皆様におかれましてもかつての日常を取り戻す希望につながる大会となることを願ってやみません。

本大会は何かと制限がある中での運営となりますが、今回もイベントアドバイザー田中徹氏から適切な助言をいただき競技性は十分に確保されております。初夏の北海道で一風変わったトレインを存分にお楽しみください。皆様のご活躍を祈念し大会のご挨拶とさせていただきます。

大会全般についての問い合わせ・連絡先

E-mail: 26th@spk.gob.jp

緊急連絡先 070-4473-5561 (山田)
大会専用番号 7月11日・12日のみ

【2】会場：向陽台公園までの交通

◆会場周辺地図・車での来場

向陽台公園野外ステージ：千歳市文京3丁目4-1



- 駐車券の発行はありません
- マップコード 113 673 871*15
- シカの飛び出しと速度取締（レーダーパトカー待ち伏せ）にご注意

当初予定していた「泉沢向陽台コミュニティセンター」が新型コロナウイルスまん延防止対策のため閉鎖となり、そのため急遽代替会場として公園使用となりました。青空会場となりご不便をお掛けしますが悪しからずご了承ください。

◆会場見取り図



- パークゴルフ場（休業中）グリーンの上には絶対に立ち入らないでください。
- 青空会場となりますので各自で雨天対策をお願いします。ステージ上に屋根はあるので雨天時には荷物を置くことが可能です。
- トイレは公園内に2箇所（水洗・洋式）ありますが、各1個室のみのため極力来場前に済ませることを勧めます。
- 女子更衣のためテントを用意します。専有許可面積申請の都合上、持ち込みテントの設置はご遠慮ください。

◆公共交通機関での来場



JR千歳線 千歳駅 東口バス乗り場5番 千歳相互バス
【泉沢向陽台】ゆき乗車 所要約26分 大人運賃350円
「文京3丁目」下車 徒歩1分 交通系ICカード使用不可

会場ゆき路線バス

千歳駅前東口⑤ 7:50 8:30 8:50 9:20 9:50 以降 13:20 まで毎時 20分・50分発

7月10日（土）のみ臨時直行便 12:05 西口タクシー乗り場付近からの発車
路線便と臨時便の乗り場は違います（大会役員案内あり）
地域住民の座席を確保するため臨時便の利用にご協力ください。

かえり（千歳駅方面）

文京3丁目 11:18 11:48 12:18 13:18 14:18 14:48
以降 17:48 まで毎時 18分・48分発（該当便のみ掲載）

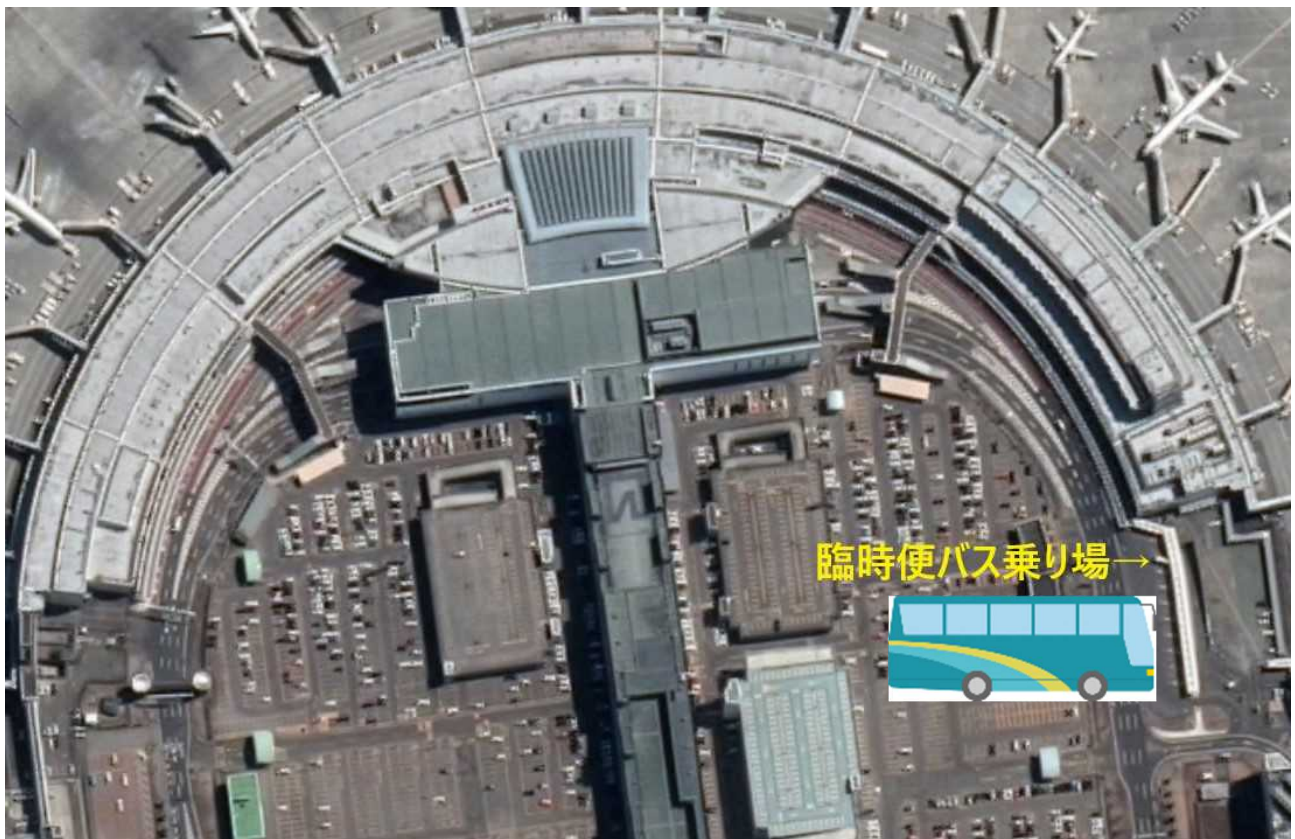
7月11日（日）のみ臨時直行便 13:00

空港行きバス乗り場と同じ場所からの発車となります。

空港直行バス（臨時便） 7月10日（土）空港 11:30 発 会場 11:50 着
7月11日（日）会場 14:00 発 空港 14:20 着
料金 600 円 会場にて乗降時にお支払いください。

路線バスタイプなので立ち席ですが予約なしでも乗車できます。
予約された方から乗車開始となります。

新千歳空港臨時便バス乗り場



空港派出所前1番バス乗り場のさらに奥の許可車専用バス乗降所（役員配置あり）
民間駐車場送迎バスが駐まっているのですぐにわかります。

◆受付・配布物

クラス毎に分けられた列から配布物が入った封筒をお持ちください。封筒の中には、[バックアップラベル・ナンバーカード・レンタルEカード（該当者のみ）](#)が入っています。中身を確認してください。ナンバーカード、Eカードは2日間共通で使用します。安全ピンは各自お持ちください。受付で若干数のみ配布いたします。

参加料の過不足があった方は受付にて精算後に配布物をお渡ししますので受付へお越しください。

◆当日参加受付

- ・当日参加は地図・Eカードに余裕がある限り（概ね各クラス3名程度）受付いたします。
- ・受付時間は1日目ミドル 12:00～13:00、2日目ロング 9:00～10:00 両日とも受付上限は20人です。
- ・公式ホームページのエントリーフォーマットから7日（水）までに参加予約された方を優先に受け付けますので極力事前予約にご協力ください。

参加区分	Day 1 ミドルディスタンス			Day 2 ロングディスタンス		
	一般	大学生	高校生以下	一般	大学生	高校生以下
〇クラス	6,000円	5,000円	4,000円	7,000円	5,500円	4,500円
BL・BS クラス	3,500円	3,000円	3,000円	4,000円	3,500円	3,500円
上記1名増	1,000円	1,000円	1,000円	1,500円	1,500円	1,500円

Eカードレンタルを含んでいます。マイカードの使用はできませんが、7日（水）までに事前予約エントリーを済ませた方はマイカードの使用を可とし種目毎に300円割引とします。

・参加可能なオープンクラス

参加条件はありません。
年齢・性別問わずどの
クラスにも参加可能です。
表彰対象外となりミドル
90分、ロング180分の
競技時間確保はできません。

クラス	1日目ミドル 距離・登距離	2日目ロング 距離・登距離	コース難易度目安
021	4.7km up10m	10.7km up250m	M21A クラス相当コース
030	3.9km up10m	7.6km up180m	M30A クラス相当コース
040	3.3km up10m	6.7km up190m	M40A・W21A クラス相当
050	3.1km up5m	5.9km up180m	M50A・W30A クラス相当
060	2.7km up5m	4.4km up130m	M60A・W40A クラス相当
070	2.0km up5m	3.8km up120m	M70A・W50A クラス相当
020	2.7km up5m	4.8km up125m	(未経験)大学新入生向け
BL	2.8km up10m	3.9km up90m	初心者向け グループ参加可
BS	2.0km up5m	2.2km up50m	初心者向け グループ参加可

【3】新型コロナウイルス感染症対策

◆ 感染拡大防止にむけて

感染拡大防止のため下記に当てはまる方の来場、参加をお控えください

- 新型コロナウイルスに感染、感染の疑いがある方
- 上記の方と濃厚接触の疑いがある方
- 体調不良の方
- 当日朝の体温が 37.5℃以上の方

競技中以外は必ずマスクを着用し、必要に応じた手洗い、手指のアルコール消毒にご協力ください。

◆ 当日朝の体調報告のお願い

千歳市会場施設では感染対策として参加者名簿の作成と1ヶ月間の保管を求められています。会場来場前、遅くともスタートへ向かう前に両日共に下記フォーム（推奨）もしくは備え付け用紙にて受付へ提出してください。これは参加者の義務であり提出がない場合の出走はできません。

事後に未提出が発覚した場合は記録を取消とする場合があります。

7月10日（土） [1日目 健康状況報告フォーム https://spk.gob.jp/26th/?page_id=2869](https://spk.gob.jp/26th/?page_id=2869)

7月11日（日） [2日目 健康状況報告フォーム https://spk.gob.jp/26th/?page_id=2881](https://spk.gob.jp/26th/?page_id=2881)

大会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染が判明した場合は必ず 26th@spk.gob.jp 宛てに報告をお願いいたします。提出された名簿は会場施設、保健所等の要請に基づいて情報提供されることを了承いただきます。1ヶ月経過後適切にデータ消去、名簿破棄といたします。



7月10日（土）ミドル 報告用



7月11日（日）ロング 報告用

【4】競技情報

◆ 競技形式

公益社団法人日本オリエンテーリング協会が定める「日本オリエンテーリング競技規則」に準じたポイントオリエンテーリング競技とする。

◆ 服装

競技に使用するウェアやシューズに関する制限は設けません。野生動物（特にヒグマ・エゾシカ）への存在喚起のため熊鈴を持参、また初心者はホイッスルの持参もお勧めします。また、スポーツグラス等で下枝の張り出しから目を保護することをお勧めします。ウェアは気候が安定しない時期ゆえ暑さ寒さ両方対応できるように工夫ください。日中の気温は20℃に達しない可能性もあり、霧が出ると寒さに凍えることもあり得ます。

公序良俗に反する服装の場合、出走を禁止することがあります。

ナンバーカードは2日間共通にて使用します。必ず胸の位置に付けてください。

◆ コントロール通過証明

EMIT社製Eカードを用いた電子パンチングシステムを採用します。

Eカードへの書き込みは禁止しますが、バックアップラベル剥離落下防止のためテープで一箇所軽く留めることをお勧めします。バックアップラベルの記印は選手の義務とし、Eカードが正常に作動しない場合はバックアップラベル記印によるコントロールの通過が確認できた時のみ完走とします。

◆ 救護所・給水所



200%拡大 実際の救護所位置は小道と不明瞭小径の分岐

地図上で＋印がある場所は有人の救護所で給水も可能です。絆創膏等の簡易応急用具が必要な場合は役員にお知らせください。地図情報を隠さないために記号の位置を転移表記し実際の位置を線の先で示しています。救護所設置位置は従来のように記号の中心ではありません。

地図上で☉印がある場所は給水所です。従来通り位置は記号の中心となります。前述の救護所以外は全て無人の給水所です。ペットボトル水と紙コップを用意してしますのでセルフで給水してください。水の用意には限りがあるので飲用のみとし、水をかぶる等の行為は厳に慎んでください。使用した紙コップは確実にゴミ袋の中に捨ててください。

夏の大会ということで給水所を多数設置しておりますが、参加されるみなさまも熱中症にご注意いただき、決して無理をしないレースを心がけてください。

◆地図・トレインプロフィール

Day 1 ミドルディスタンス競技

縮尺 1:7,500 M80A・90A / W60A・70A・80A・90A

1:10,000 上記以外のクラス

等高線間隔 5m

走行度 4段階表記

地図サイズ A4判

地図表記 ISOM2017-2 準拠

コントロール位置説明 ISCD2018 準拠

配布用位置説明の最大寸法 縦 12.0cm×幅 5.2cm

プリンタ出力 ビニールシーリング済

Day 2 ロングディスタンス競技

縮尺 1:15,000 M21A・30A / W21A / 021・030

1:7,500 M80A・90A / W80A・90A

1:10,000 上記以外のクラス

等高線間隔 5m

走行度 4段階表記

地図サイズ A4判

地図表記 ISOM2017-2 準拠

コントロール位置説明 ISCD2018 準拠

配布用位置説明の最大寸法 縦 14.5cm×幅 5.2cm

プリンタ出力 ビニールシーリング済

各クラスの距離・登距離はスタートリストを
ご参照ください

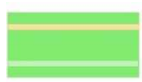
トレイン&コースプロフィール

全域が国有林であり多くはマツ類の針葉樹林となっています。植林10年未満の幼林筋は下草刈りにより一方向のみ小径と同様の走行度を有するためルート選択に大きな影響となるでしょう。造林作業道や植樹切り開きが発達しているため緑っぽい見た目の割には走行度が高いトレインです。また、概して枝打ちされていない針葉樹林よりも広葉樹林の方が走行度は良好です。

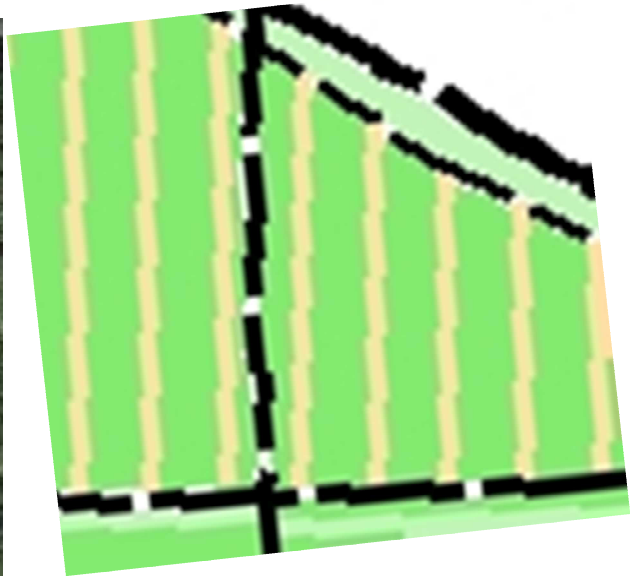
ミドルは比較的狭い範囲での競技のため上位クラスはレグ線が錯綜し、隣接コントロールと他の競技者の動きに惑わされないことが課題となります。また、全クラスアップを感じる場面がないのでスピードレースとなりますが、走行度が高い割に見通しはさほど良くないので一度アタックを外すと苦勞するでしょう。


ロングについてはルートチョイスが問われるロングレグが盛り込まれるものの比較的アタックは容易で競技特性に沿ったものとなっております。両日共に特殊記号の「木の根」を多くのコントロールで採用しているのによく理解の上ご参加ください。

◆本大会のみ定義される地図表記について

 走行可能な植林筋
歩行可能な植林筋 「走行・歩行可能な植林筋」の表記について

本トレインは国有林内のため植林地帯が大部分を占めます。その中でも植樹されたばかりの幼林地帯は生育するまでの約 10 年間丹念に下草刈りがなされるため、ほぼ小径と同様の走行可能度を有しルートチョイスに大きな影響があります。その表記は実寸表記であり基点から何番目の植林筋に進入するかもルートチョイスとなり得ます。小径同様の高い走行度を有しますが幼林を倒したりすることの無きよう幼林保護にはくれぐれもご配慮ください。(今後のトレイン使用に影響します)



 下枝により一方向に進みやすい針葉樹林
Conifer forest that only easy running in one direction due to low twigs

走行度に方向性がある針葉樹林

枝打ちされていない針葉樹林帯を意味します。上記の「走行・歩行可能な植林筋」は1本の筋を線状特徴物として表記しているの表記の筋と現地は一致しますが、こちらは緑面に白抜き白線で走行しやす

い方向性を示しているに過ぎず、白線≠現地の走りやすい植林筋 となります。

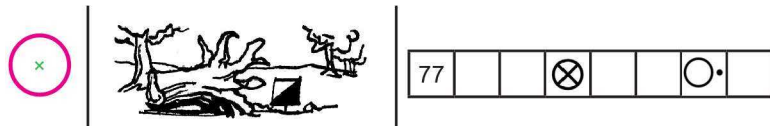


植樹された方向には走行可能

しかし 90 度横を向けば下枝により通行しにくい

✕ 「倒木の根」の表記について

台風被害により根こそぎ倒された倒木の「根」の部分を実験記号として採用しています。(ISOM 419 特殊な植生特徴物) 10m 以内に近接しているものは記号が重なり読図の妨げとなるのを防ぐため、1つの記号で群を表現しているものもあります。(2つの根を1つの大きな特徴物と捉えたその中心位置を表記) 取捨基準は高さ約 120cm 以上かつ幅 150cm 以上の根を採用しています。位置説明記号の ISCD 4.10 倒れた木の上向きの根 The upturned root of a fallen tree. として位置説明には記載します。





このような巨大な倒木の根はアタックの方向も制限されます。設置箇所は根側にフラッグを設置しているのでディスクリプションのG欄に「南東側」と表記されていれば南東から北西にかけての倒木と想定でき記号中心から倒木方向については概して走行度が良くないと推定できます。

× 廃車 倒木置き場 Scrapped car
Fallen trees collection point



○ 炭焼き窯跡 Charcoal kiln ruins



一部のフラッグに赤文字で番号が記述されているものがありますが本大会では無効です。正当な番号はパンチ台に添付されている黒文字の番号となります。

例) 赤文字 105は無効な番号。有効な番号は「144」。



◆エスケープルートについて

本トレインは千歳市内から西方の支笏湖まで 10km 以上に及ぶ深い森林地帯の東端に位置し、一切の集落や建造物のない無人地帯となっており、ロングディスタンス範囲の大部分でモバイル通信は不可能です。1 日目ミドル競技・2 日目ロング競技共にエスケープルートは東方に向かう道を選択し住宅街に向かうことのみとなります。

地図の南北を貫く主要林道を越えて西方にマップアウトすることはすなわちヒグマの家庭訪問をするのと同義であり我々の搜索能力を超え警察・消防等の救援を仰ぐほか搜索の手段はありません。

◆獣害（ヒグマ・エゾシカ）についての対応と考察

被害を避けるために

- 熊鈴等、音を出して野生動物に存在をアピールしましょう。
- 獣臭、尋常じゃない気配、異変には敏感に対応しましょう。
- 林内で断続的なクラクション音が聞こえたら競技中止の合図です。速やかに安全にフィニッシュに向かってください。
- 競技時間やフィニッシュ閉鎖時間は厳守しましょう。競技時間を過ぎても競技を続ける身勝手な行動は搜索する我々運営者や仲間を危険にさらす行為です。

運営対応

運営側の対応として、競技前のポスト確認のため林内を複数人で廻ることによりある程度の追い出し効果はあると思料しますが限定的なものです。不幸にして朝のポスト確認時点でヒグマと遭遇してしまった場合は残念ながらその日の競技は中止とさせていただきます。

競技中に万が一ヒグマを見かけてしまった場合はまずは自身の安全を第一に行動してください。「背を向けて逃げるな」等いろいろ言われていますが、丸腰に近い競技者が対処できることもあまりなく考えている余裕はないはずです。その上で極力大きい道を選択してフィニッシュもしくは救護所役員にお知

らしてください。その上で競技役員は複数台の車両で断続的にクラクションを鳴らし競技者に競技中止を知らせます。一般車両が立ち入ることのない国有林内ですので、万一断続的なクラクション音が聞こえた場合はすぐに競技を終了し、極力大きい道を選択しフィニッシュへ向かってください。フィニッシュでは必ずEカードにより帰還チェックを受けて未帰還者管理にご協力ください。会場内では随時未帰還者リストを掲載、更新します。もし帰還しているにも関わらず未帰還者リストに自分の名前がある場合は必ず会場役員に申し出て未帰還者の管理にご協力願います。

獣害についての考察

当該地区がオリエンテーリング競技に適した地区でありながら、今までトレイン開発されずにいた理由はヒグマ出没情報があまりに多くて安全を担保できないという考えによるものでした。しかし、平成も末期になると環境の変化によるものかわかりませんが、ヒグマと無縁だったはずの札幌市内住宅地にも出没するようになり、柵で覆われた国営公園内には穴を掘って地中から進入する事象、はたまた海を泳ぎ渡り離島にまで出没するといった事象も認められ北海道内ヒグマが出没しないと確約できる地区がなくなったとも言えます。よって我々は「with コロナ&ヒグマ、北海道新時代」と考え方を改めて調査入林し大会開催に向け準備してきました。

各市町村のホームページにはヒグマの出没情報があふれ、千歳市においても方々で道路横断や茂みに逃げ込んでいったヒグマの目撃情報が掲載されております。本大会のトレインにおいて調査者、試走者がヒグマを目撃した経験はありませんが至る所でヒグマの糞を発見しており、当然においてトレイン内にもヒグマは往来してはいますが目撃報告が少ないだけに過ぎません。

安全を追求するのであれば大会を開催しない、参加しないのがベストな選択です。しかし、オリエンテーリング競技というのはそもそも非日常野外空間を舞台にする競技であり、自然界に存在するリスクを甘受し、自らをコントロールする競技でもあるゆえ「正しく恐れ、正しく対応する」姿勢が必要なのではないかと考えます。

一般的にヒグマの行動範囲は広大で移動距離も大きいとされています。また、聴覚や嗅覚に優れ基本的には人間との接触をヒグマ自らが忌避して逃げると言われていますが個体差もありますし、子熊を連れた母熊は攻撃的であるとも言われています。北海道内では作物や家畜が食い荒らされる農業被害がとても多いのですが、人的被害はあまり大きくありません。しかし、今年の4月に道東方面で山菜採りの男性がヒグマに襲われ落命するという事件があり、数年に一度はこのような人的被害も発生していますし、6月18日の札幌市東区出没騒動は記憶に新しいところです。

競技者である我々が「正しく恐れる」こととして、ヒグマの生息地に踏み入れているという認識を常に持ち、「正しく対応する」姿勢として、鈴等の音が出る仕様での出走、尋常でない気配や獣臭を感じたらすぐさま引き返す、競技時間やフィニッシュ閉鎖等の時間を厳守し行動が活発となる夕方以降の入林を避けるといった対応が必要と考えます。(日暮れが早まるので昨年秋に延期しなかった理由のひとつです)

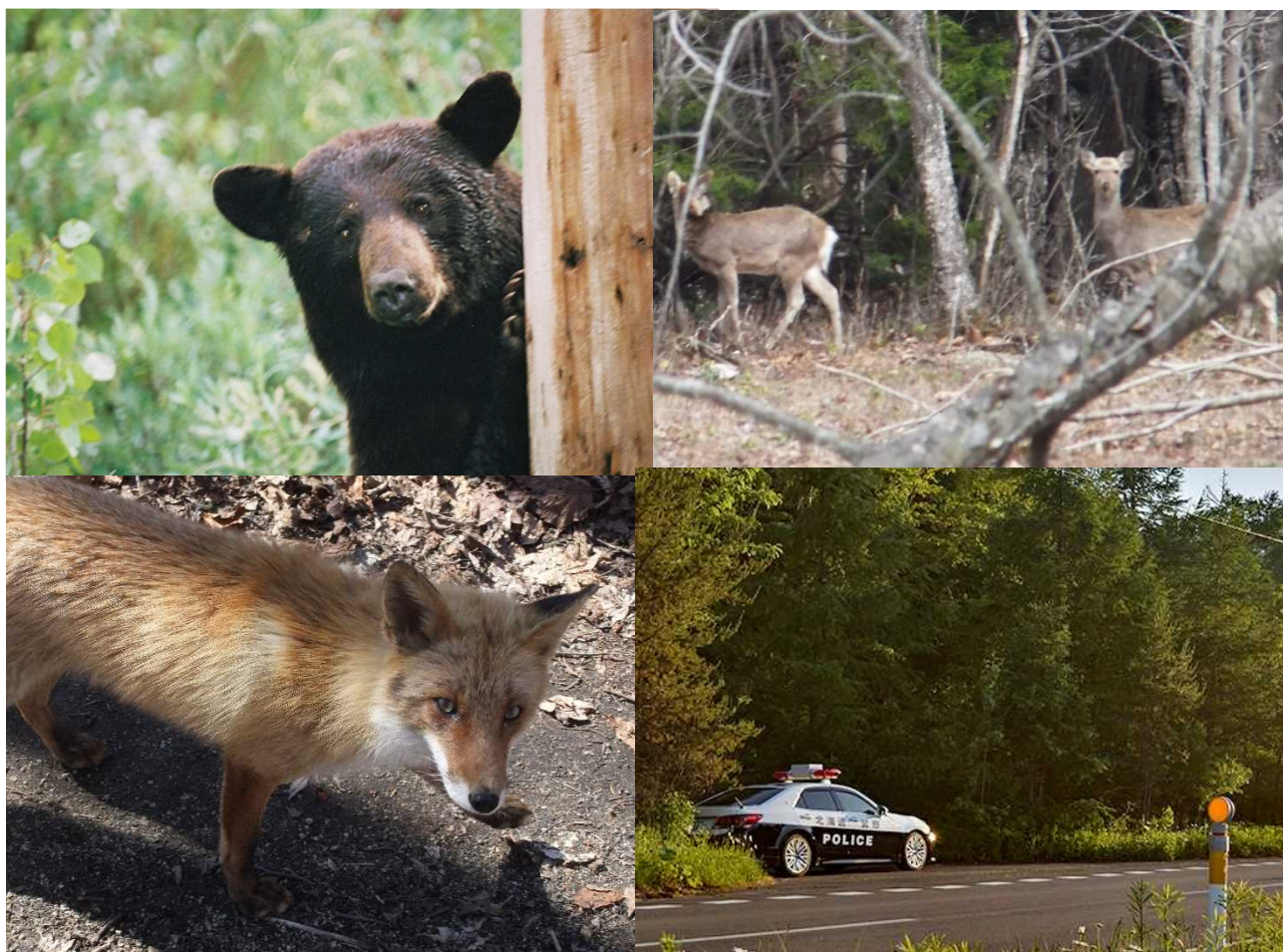
エゾシカについては、これまたトレイン内糞だらけで人的被害は聞かないものの農業林業被害はヒグマの比ではありません。人間を見つけたらエゾシカの方が基本的に逃げていきますが、群れで行動するエ

ゾシカの疾走はかなりの迫力があり、ある競技者の存在に気づいて逃げ惑うエゾシカの疾走に驚いた別の競技者が転倒してケガをするといった事例は過去にあります。また、会場への往復にレンタカーで来られる方は道路脇からのエゾシカの飛び出しにも十分ご注意ください。（特に新千歳空港と新千歳空港インターチェンジ間の道道 1091 号泉沢新千歳空港線は出没多数。レンタカーが多い空港近辺はスピード違反の取締も多いのでそちらも要注意）

また、ダニも多いのでウェアの裾についたダニに刺されないようご注意ください。

ヒグマの生態やヒグマとの関わり方について（ヒグマパネル展 2020）

<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/ks/skn/higuma/paneru2020.htm>



森のおともだち

ヒグマ エゾシカ

キタキツネ パンダ

【5】競技の流れ

◆ 競技における誘導・競技時間関係のまとめ

◆ スタート地区

- ・スタートに向けて会場を出る前に両日共に必ず「当日の健康状況」を専用フォームからの送信もしくは紙にて受付へ提出してください。
- ・スタート枠に入るまでは必ずマスク着用してください。スタート枠前にマスク専用ゴミ箱を用意します。
- ・ウォーミングアップはスタートまでの誘導区間で行ってください。
- ・**スタート地区にトイレはありません。**
- ・スタート地区の時計は現在時刻を示しています。スタート地区で給水を受けることができます。
- ・アクティベートユニットにEカードをはめた際、ユニットのランプが光らない場合はEカードが故障している可能性があります。役員に申し出て交換してください。マイカードが故障しスタート地区でEカードをレンタルされた方競技終了後に会場で使用料をお支払いください。
- ・スタート3分前に枠に入り、2分前枠にて配布用位置説明表を受け取ることができます。1分前枠で自分のクラスの地図を確認し、10秒前の予鈴と同時にEカードをスタートユニットの上に置き、スタートチャイマーの合図とともにEカードをユニットから離して地図を受取スタートしてください。リフトアップスタートとなります。
- ・赤白テープ誘導に沿ってスタートフラッグを通過して競技を開始してください。
- ・**スタート時刻に遅刻した方**は役員にその旨を伝え、役員の指示に従って遅刻者枠から出走してください。遅刻者の競技タイムはスタートリスト記載の正規スタート時刻から計算します。ただし、運営側の不手際についてはこの限りではありません。

◆ フィニッシュ・計算センター

- ・**競技時間を過ぎそうな場合には、たとえコースを全て回っていても、フィニッシュを通過して棄権してください。フィニッシュ閉鎖時刻を過ぎても未帰還の場合、ケガ、野生動物に襲撃された懸念をもとに捜索の対象となります。新入生・経験の浅い参加者は上級生や同行者が徹底してこのルールとマナーを指導してください。**
- ・フィニッシュ方法はパンチングフィニッシュ（Eカードをフィニッシュユニットにはめた時点で競技終了）です。フィニッシュ後は役員の指示に従い着順通りに計算センターにお越しください。2日目に出場しない方でEカードをレンタルした方は、読み取りの際に回収します。
- ・ペナルティ表示された場合は計算センターでペナルティレポートを交付します。バックアップラベルに記印の跡が確認できれば完走としますのでフィニッシュ地区にて申告してください。
- ・調査依頼は会場に戻ってから受付にて任意の書式にて受付に提出してください。
- ・フィニッシュ後の地図回収はしませんのでスタート前の選手への情報提供は禁止します。
- ・フィニッシュ後は必ずマスクを着用して会場へお戻りください。フィニッシュにて希望者には不織布マスクを配布します。
- ・フィニッシュから会場への赤白テープ誘導は途中でスタートまでの誘導と合流しますので逆に辿ってください。

◆ 成績速報

成績速報は最終スタート終了後 [Lap Center](#) でライブ速報します。



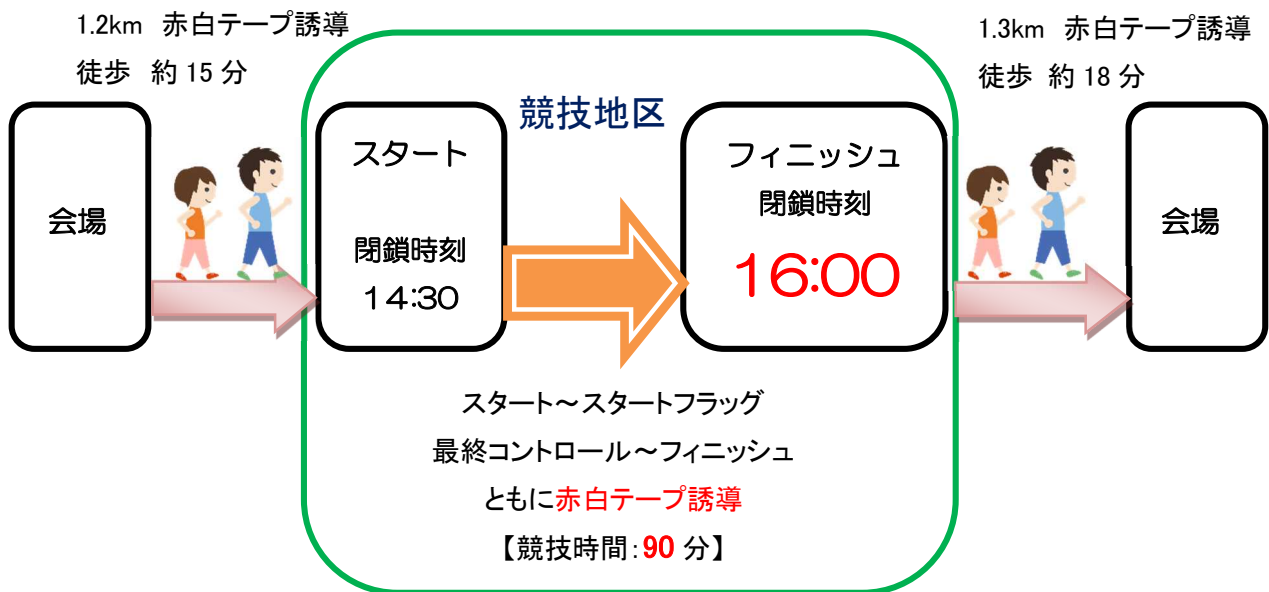
◆ 調査依頼・提訴

競技の後、公平性に疑義がある場合、競技者は調査依頼を提出することが出来ます。調査依頼は会場にて任意の書式にて受付へ提出してください。提出された調査依頼の内容をもとに競技責任者が回答し、公式掲示板に掲出いたします。その内容に不服がある場合、15 分以内に提訴を行ってください。ただし本大会ではオープンクラス参加者は提訴できません。

調査依頼締切時刻 ミドルディスタンス 7月10日（土）16:00
ロングディスタンス 7月11日（日）14:00

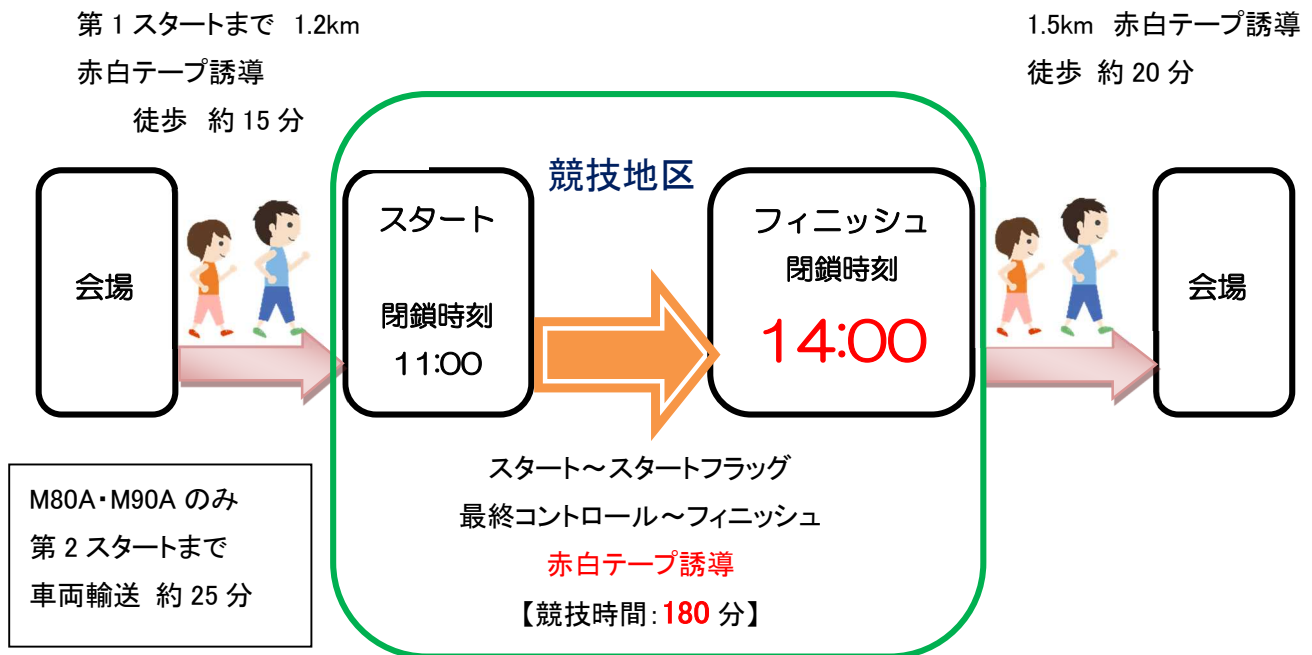
本大会の裁定委員 酒井 佳子 様（札幌農学校）
田中 翔大 様（練馬OLC）
木村 佳司 様（長野県協会）

◆ Day1 ミドルディスタンス競技



- ・ スタート閉鎖時刻（14:30）以降は出走できません。
- ・ Eカードレンタルされて2日目も出場する方は翌日まで保管して各自バックアップラベルを貼り替えてロングディスタンス競技でも使用してください。
- ・ フィニッシュ閉鎖時刻（16:00）までに未帰還の場合は搜索の対象となります。また、翌日競技にユニットを移設する都合上、未帰還者の有無を問わず 16:00 に撤収を開始します。
- ・ 1 日目は会場帰還後解散となります。

◆ Day 2 ロングディスタンス競技



- ・スタート閉鎖時刻（11:00）以降は出走できません。

第2スタートのM80A・M90Aクラスはスタートまで車両輸送となります。本部受付へ9:40までに出走準備完了の上集合してください。点呼を受け車でスタート地区へ移動となります。遅刻スタートはできません。

- ・フィニッシュ後Eカードをレンタルされた方は読み取りの際に回収します。
- ・フィニッシュ閉鎖時刻（14:00）までに未帰還の場合は搜索の対象となります。

◆ 地図販売 表彰

順位が確定次第、表彰式を行います（予定では13:00ごろ）。各クラス総合成績3位以内、かつトップ比125%以内の方を表彰します。

競技終了後受付にて本大会での【各クラスのコース図】300円【全コントロール図】600円にて販売します。

【6】注意事項

◆大会の開催中止判断

著しい荒天予報、その他の理由により主催者が参加者の安全を確保できないと判断した場合、または交通機関のトラブルなどにより参加者の大半が来場できないと予想される場合は、大会を中止する場合があります。中止の場合は、前日（7/9）までに大会 WEB サイトにて発表します。

なお、大会中止の場合でも参加費の返金は一切行いませんので、ご了承ください。

◆大会全般の注意

- ・感染予防にご協力ください。地域住民の不安を煽ることのないようご配慮ください。
- ・駐車場内、会場内での事故や盗難等については、主催者は一切責任を負いません。
- ・自分で出したごみは各自お持ち帰りください。会場内、競技地区では火気使用厳禁です。
- ・万が一怪我をしてしまった場合の通院に備え、保険証またはそのコピーをご持参ください。
- ・参加者の不注意または故意によって生じた怪我、損害（第三者に与えたものも含む）は参加者の責任となります。主催者は一切その責任を負いません。
- ・J0A 加入の傷害保険適用大会です。本大会でのケガによって入通院した場合補償対象となりえますのでお問い合わせください。
- ・健康状態が思わしくないときの出走はやめましょう。またレース中、具合が悪くなった場合は、途中でも競技をやめる勇気をもってください。
- ・大会当日の千歳市内当番病院は下記の通りです。

7月10日（土） 内科系 休日夜間急病センター 千歳市東雲1丁目8-1

14:00～翌7:00 TEL 0123-25-6131

外科系 緑町診療所 千歳市緑町1丁目3-30

受付時間 午前 9:00～11:45 午後 13:30～17:00 TEL 0123-29-3383

7月11日（日） 内科・外科系 休日夜間急病センター 千歳市東雲1丁目8-1

受付時間 午前 9:00～午後 2:00 TEL 0123-25-6131

◆競技上の注意

- ・怪我人や病人を見つけた場合は、場所、状況等を最寄りの役員あるいは救護所にお知らせください。
怪我人・病人の救助は最優先してください。
- ・トレイン内はヤブ蚊がひどく立ち止まると群がってきて刺されます。虫除け対策を各自行ってください。ただし蚊取り線香などの火を使う器具の持ち込みは厳禁です。
- ・競技の補助として使用しないことを条件に（競技時間中に参照しない、SNS、Strava 等に情報アップしない）GPS・携帯電話の持参を許可しますが、特にロング競技地区での通信状況は悪く電池消費が激しくなります。
 - ・ウェアラブルカメラの装着は制限しませんが、出走前選手へ情報提供とならないようご配慮ください。